

# 建廃協 青年部

## ひろがれ、繋げよう 「絆」

### 有楽町で抜きましよう（血を）

今年9月に青年部が発足され、掲げたスローガン。  
「ひろがれ、繋げよう「絆」我々にできること」  
献血は正に見えない絆を繋げる行為であり、  
若手ならではの体を張った社会貢献なのではないか。  
会合を重ね、議論し行きついた答えの一つ。まずは行動。

我々にできること



12月10日、青年部における初の社会貢献活動として献血を実施しました。  
場所はクリスマスのイルミネーションも鮮やかな有楽町駅前、  
交通会館6Fの献血ルーム。  
年末の繁忙期にも関わらず、今回15名の部員の方々に参加していただきました。  
献血ルームはイメージとは違い（勝手なイメージですが）、  
お洒落なカフェのような装いで、ドリンクはフリードリンク。  
こちらイメージ（帰りに乳酸菌系飲料をもらえる）とは違い多種多様な種類が  
揃っておりましたので、待ち時間はリラックして過ごす事ができました。  
とはいえやはり、注射が好きな人はいないので、  
いよいよとなると皆一様に緊張した表情で腕をまくっていました。  
まな板の上の鯉の心境とはこんな感じなのではないでしょうか？

今回参加する事で新しい発見もありました。  
11月から12月が血液の在庫が最も減少する  
時期である事。  
やはり血液の品質については厳しいチェッ  
クが入るという事。  
抜かれてわかる血液の大切さ。  
（気分が悪くなる方もいました）  
まずは実施したという事が収穫の今回の活  
動ですが、今後についてもスローガンに基  
づいた、青年部ならではの社会貢献活動を  
実施していきたいと思えます。

